

プログラム名	<p>においてさわってなんでしょう？！</p>						
対象年齢	<p>年中・年長 (4～6歳)</p>						
ねらい	メッセージ	<p>・野原や公園などにある自然物のつながり(自然界の循環)に気づこう</p>					
	発見・体感できること	<p>・多様な種類の自然物があること ・野原や公園にある自然物の感触(やわらかさ、硬さ、形、においなど) ・野原や公園に落ちているゴミの種類</p>					
参加者のめやす	<p>幼児 1～20 人 / 支援者 1 人</p>						
実施時間	<p>30分</p>						
フィールド							
	森・社寺林・公園	山・里山	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間	活動			配慮・アドバイス アレンジ			
準備				<p>「な～んだ?袋」に、自然界にあるものとなないもの、さまざまなおいや触感のものを入れておきます。</p> <p>一つの袋には一種類のものを入れます。</p> <p>自然界にあるもの (ゲームをする場にあるもの) まつぼっくり、笹の葉、わらび 枯葉、石 など</p> <p>自然界にないもの プラスチックのコップ、こんにゃく おもちゃのブロック、電池、携帯電話 ペットボトル、油粘土 など</p> <p>植物の場合は、手でもんだり、すりつぶしたりしておくと、においがわかりやすくなります。</p> <p>においのするもの 土、ヨモギ、果実の皮 季節の花(キンモクセイなど)</p>			
10分	<p>中身が見えない袋の口を細めた部分からにおいをかいで、中身が何か考える</p>						

時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
<p>10分</p> <p>10分</p>	<p>袋の中身がわかったら、フィールド内の決められた範囲の中でそれと同じものを探しに行く（採集はしない）</p> <p>自然の中にあるものとなないものとの違いを通じて、自然界の循環の話をする</p>	<p>においや触感だけではわかりにくいもの場合はヒントを与えるなどして、考える楽しさを感じられるようにしましょう。</p> <p>「袋の中に石を入れて、触れたものと同じ大きさの石を探す。」という内容でもできます。</p> <p>においを嗅いだり触れたりして、さまざまなものに興味を持ち、自然界にあるものとなないものとの違いを意識した段階で、「本来自然の中にあるもの(ゴミなど)がなぜそこにあるのか」を考えていけるように話し合います。</p> <div data-bbox="311 851 1332 1332" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p> 【豆知識】「におい」にはいろいろな意味がある</p> <p>「におい」には、動植物が生きていくための重要なはたらきがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンサクやヤツデは、人にとっては臭いにおいだが、虫を寄せつけて花粉を運ばせるために必要 ・動物のウンコやオシッコは、なわばりを示すために必要 </div>
<p>【異年齢への対応】</p> <p>年少：年齢が低い場合は、感触やにおいの違いがはっきりとわかるものを選んで袋の中に入れるようにします。</p>		
<p>【園や家庭へ帰ってから】</p> <p>自分にとって「良いにおい」「嫌なにおい」とはどんなにおいか、話し合ってみましょう。虫、動物、人間にとっての「良いにおい」は異なります。それぞれが生きていくために必要な「においの役割」について考えてみましょう。</p> <p>犬になりきって散歩し、街に存在するさまざまなにおい（排気ガス、飲食店、ゴミ箱など）と自然の中でのにおいとを比べてみましょう。</p>		
<p>準備物・教材等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ な～んだ？袋（中身が見えない袋） ・ 袋の中に入れる物(できるだけ感触やにおいの違いが明確なもの) 	

